

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 4 月 24 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		訓練室内は常時、整理整頓に心掛けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員10名に対し、常時4名以上の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			洗面所に入る際に軽い段差がある、車いすご利用の利用者が当事業所を利用されるとなった際は、段差を改善しなくてはならない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃及び消毒を常時実施しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		気持ちが不安定な状態等に陥った場合、別室に移動する等の処置を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々ミーティングにおいて、必ず振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート及び日頃の保護者様とお話の中より、改善が必要な場合は改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティング、会議及び個別に意見等を把握する機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価については行っていますが、今後、必要と判断される場合については、検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修は実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切に支援計画を作成し、提示しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		作成前に、面談等を実施しニーズに応じた計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		管理者、指導員ともに共通理解のもと、計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成段階、作成後において共有を図っている。また、計画に基づき支援を実施しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		各利用者に応じてアセスメントシートを作成しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的に支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは職員間で話し合い立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員間で意見を出し合い固定化しないよう工夫を行っています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々の子供に応じた、個別活動及び集団活動の計画を作成し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎回ミーティングを実施し、確認と連携を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りは、必ず実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ミーティングを実施し、支援内容を全体で検証し、改善が必要な場合は、見直しを図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的かつ必要に応じてモニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインの基づき行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自由時間等においては、子どもが自分の考えで選んだ遊びが出来るようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必ず直接関わっている指導員の責任者等が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		近隣のクリニックと医療支援における提携を取っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要の都度、学校より情報をいただくようにしております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要の都度、情報交換を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			これまで、学校を卒業し移行する児童がいなかったため実施しておりません。今後、必要となった場合は、情報共有に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			助言を受ける機会がありませんでしたので、今後、必要であれば助言を受けるとともに、研修にも参加できる態勢を作ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域児童との交流は、実施しておりませんが、法人内の他事業所との交流は実施しております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			必要に応じ参加を検討してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時において、必ずその日の子ども様をお伝えするようにしております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			家族の参加できる研修等は、これまで実施しておりませんが、今後、必要に応じて実施の有無を検討いたします。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約等の際にはしっかり説明を行うとともに、必要に応じても行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		必要の都度、面談等を行い、子どもや家族の意向を確認しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明をおこない、サインをいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		常時、面談を受け付ける体制をとって」おります。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会等については、必要に応じ開催を検討します。兄弟につきましては、事業所のイベント等には参加の機会を設けております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情相談窓口を設置しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		常時、お知らせを発行しており、活動や行事についても情報を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては、常に注意喚起をおこなっており、研修も実施しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		積極的にお話ができる機会を設けるようにしております。言語でのコミュニケーションが難しい利用者様には、絵カード等を用いて円滑なコミュニケーションに努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		施設の規模の関係で、事業所行事に地域住民を招待する等はおこなっておりませんが、必要と判断された場合においては、検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは全て策定しております。また、年間計画に基づき訓練も実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定しております。訓練についても安全計画に基づき実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		確認するとともに、保護者様から情報を常にいただいております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーについては、常に確認を実施しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づき実施しております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事業所の安全計画は、各ご家庭に配布しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを作成し、共有を図っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		指針、マニュアルに基づき研修・機会教育を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要と判断される際については「身体拘束等適正化委員会」を開き身体拘束を最小限に努めるようにしています。過去、身体拘束を必要とする場面については、ありません。	